

危険物発見箇所周辺環境調査について

< 広報さむかわ版 第6号 (平成16年11月1日) >

発行・編集：環境省環境保健部環境リスク評価室、神奈川県防災局災害対策課、寒川町町民部防災交通課

環境省では、相模海軍工廠跡地の環境調査を平成15年度から行っており、平成16年度の第一次調査を平成16年8月から9月にかけて実施しました。

その結果、分析した全ての地下水・環境大気・表層ガス・土壌からは毒ガス成分は検出されませんでした。

物理探査につきましては、現場での測定を終了しましたので、別途行っている「物理探査の結果を評価する方法を確立するための実証実験」の結果が出しだい、その結果を用いて不審物の存在の可能性を評価し、不審物確認調査を行います。

1. 地下水調査

相模海軍工廠跡地内の井戸2ヵ所および周辺の井戸17ヵ所(合計19ヵ所)の地下水を採取して、毒ガス関連物質が含まれていないか調査しました。

結果: 全ての検体について、毒ガス関連物質である、硫黄マスタード、ルイサイト、2-クロロビニル亜アルソン酸、あか剤関連物質(ジフェニルクロロアルシン、ジフェニルシアノアルシン、ビス(ジフェニルアルシン)オキシド、ジフェニルアルシン酸、フェニルアルソン酸)は検出されませんでした。

2. 環境大気調査

工廠跡地全域(97ヵ所)で、大気中に毒ガス関連物質が含まれていないか調査しました。

結果: 全ての検体について、毒ガス関連物質(硫黄マスタード、ルイサイト、ホスゲン、シアン化水素)は検出されませんでした。

3. 物理探査

裸地全域で、物理探査(レーダー探査および磁気探査)を実施し、地下数メートルまでに異物が存在しないか調査しました。

ただし、地歴等調査で旧軍の建屋があったところや過去に当時の地表面から3m以上の掘削履歴が判明しているところは除外し、植栽など物理探査の困難な場所は今回の調査の対象外としました。物理探査の面積は、合計約22,400m²です。(調査地点は裏面参照)

結果: 現場での測定を終了しましたので、別途行っている「物理探査の結果を評価する方法を確立するための実証実験」の結果が出しだい、その結果を用いて不審物の存在の可能性を評価し、不審物確認調査を行います。

4. 表層ガス調査

平成15年度の物理探査の結果、なんらかの異物が検知された箇所(一之宮小学校408ヵ所、ボランティアセンター8ヵ所)について、その直上の地表面の大気中に毒ガス関連物質が含まれていないか念のため調査を行いました。(調査地点は裏面参照)

ご質問・ご相談は、下記窓口にご連絡ください。

環境省環境保健部環境リスク評価室 03-3581-3351

神奈川県防災局災害対策課 045-210-3513

寒川町町民部防災交通課 0467-74-1111

(裏面に続く)

結果: 全ての検体について、毒ガス関連物質(硫黄マスタード、ルイサイト、ホスゲン、シアン化水素)は検出されませんでした。

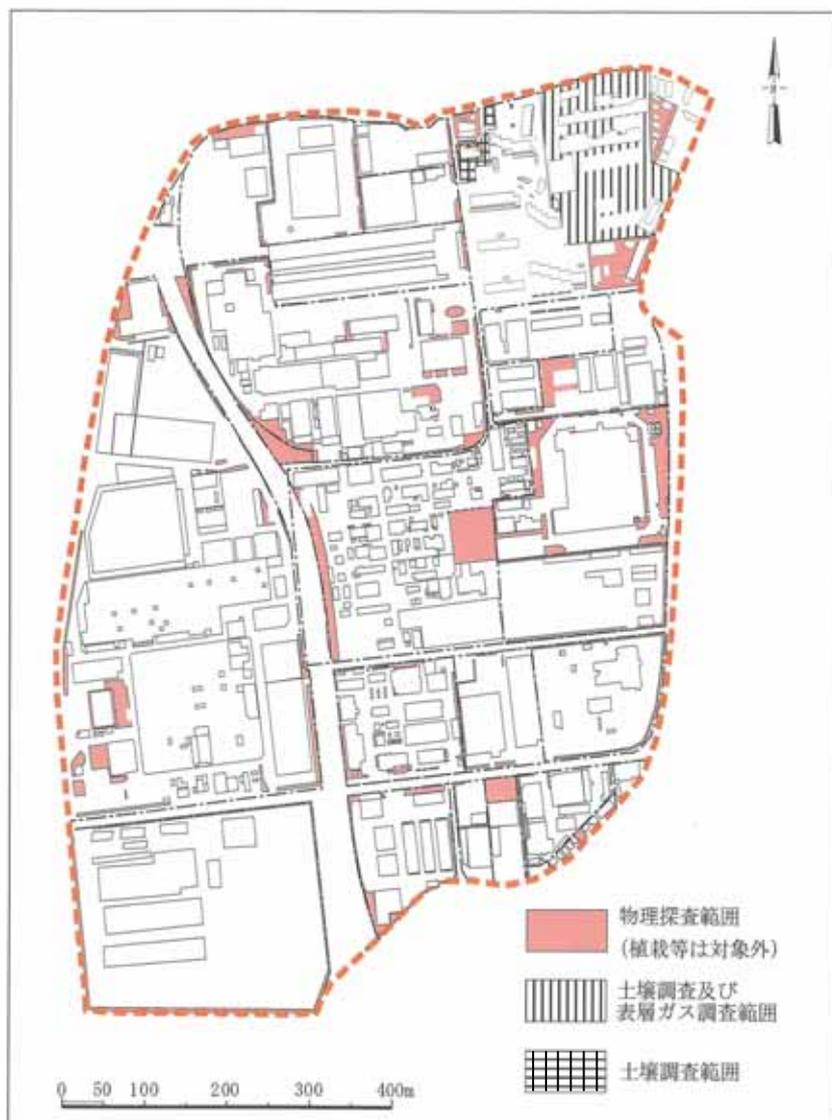
5. 土壌調査

平成15年度に物理探査を行った場所で、表層土壌に毒ガス関連物質が含まれていないか調査しました。調査地点は、天神下第一公園 6カ所、天神下第二公園 3カ所、一之宮小学校 101カ所、ボランティアセンター5カ所です。(調査地点は下記参照)

ただし、深さ1m以上の土壌の入れ替えや掘削等の情報がある区域は除外しました。

結果: 含有量および溶出量どちらも全ての検体について、毒ガス関連物質である、硫黄マスタード、ルイサイト、2-クロロビニル亜アルソン酸、あか剤関連物質(ジフェニルクロロアルシン、ジフェニルシアノアルシン、ビス(ジフェニルアルシン)オキシド、ジフェニルアルシン酸、フェニルアルソン酸)は検出されませんでした。

< 調査実施地点図 >



注1) 環境大気調査は全域を対象としています。

注2) 物理探査、土壌調査等の調査は裸地を対象に行っています。舗装されていたり建物が建っているところについては、その状態が保たれている限り直接被害が生ずることは考えられないため、今回は調査していません。